



原発ゼロに

遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



—31日は県知事選挙の投票日—

県民の声を県政に生かす知事を選ぼう

5月31日(日)は新潟県知事選挙の投票日。棄権しないで投票に行きましょう。

公約をいとも簡単にかなぐり捨てた方が厚顔無恥にも知事選挙に立候補しています。約束をたがえて原発再稼働を容認した人に、これからの県政のかじ取りを任せる訳にはいきません。新潟のことは新潟県民が決める。実直に県民への公約を打ち立てた清新な若者を新しい知事に押し立てましょう。今日は投票日、棄権しないで投票しましょう。



毎週月曜、朝7時30分、中之島支所前でスタンディング

藤野保史元衆院議員を囲んで若者世代の意見交流会開く

5月23日、長岡市内で、藤野保史元衆院議員を囲んで、若者世代のタウンミーティングが開かれ、4人の問題提起を受けて、参加者は話し合いました。

《Tさん・Aさん》

●医療現場で働いている。仕事は年々ハードになるが給与が見合っていないと感じる。やりがいがあるのに同僚は転職していく。退職補充がされずに、益々忙しくなるが、賃金は上がらない。労組は、収入を増やすために『兼業を認めて』と要求し、兼業解禁になった。

●介護施設はWワークが可能になり、夜勤もこなしながらスナックで働くシングルマザーもいる。子育てや生活のためにWワークするっておかしいと思う。

《Bさん》

●子どもは大学生。国公立

立大学は金はかからないと思っていたが、驚くほどかかる。給付型や無利子の奨学金は制約が高く、簡単ではない。大変苦勞している。

《Oさん》

●イラン戦争の影響で材料が入ってこない。調達できても価格が高い。今後の見通しが立たない。職員を解雇した事業者もある。小規模で赤字でも納税が迫られる。廃業や倒産するところが増えてくる。

《藤野保史さん》

高市政権は物価高に 대응せず、食料品0税率も先送りしている。孤立孤独対策本部は立ち上げても、自治体やNGOに丸投げしている。



5/23藤野保史さん(左2人目)を囲んで

一方、防衛費は10兆円と倍増した。教育予算や社会保障予算は削られ、国民生活は厳しさを増している。しかし、今各地でそれぞれ「戦争反対」「9条守れ」「生活守れ」などの要求を掲げ自発的デモが起きている。社会を変える希望が生まれている。頑張りましょう。

ひとりじゃないを実感

若者タウンミーティング。グループに分かれてのトークカフェでは「漫然と政治のことについて話すのではなく、具体的に、身近な生きづらさについても話し合うことができ、有意義だった」の感想も聞かれました。

初めての試みでしたが「またやってほしい」の希望も出されて、主催者の一人として大変うれしく思いました。

遠藤れい子の笑顔でファイト

望も出されて、主催者の一人として大変うれしく思いました。